

施工 Q-16

資材仮置き

合成スラブ用デッキプレート敷設後に資材を仮置きする場合の検討方法を教えてください。

施工 A-16

合成スラブ用デッキプレート上への資材等の仮置きは避け、別途仮置き場を設けるなどの計画をしてください。

しかしながら、やむを得ず敷設したデッキプレートの上に資材等を仮置きする場合は、以下の点に注意して検討してください。

- ・合成スラブ用デッキプレートは構造材のため、きず・へこみ・変形等をおこさないようにします。
- ・台木などを梁の直上に置き、デッキプレートへの負担を軽減できるように配慮します。

(例として下図に示す)

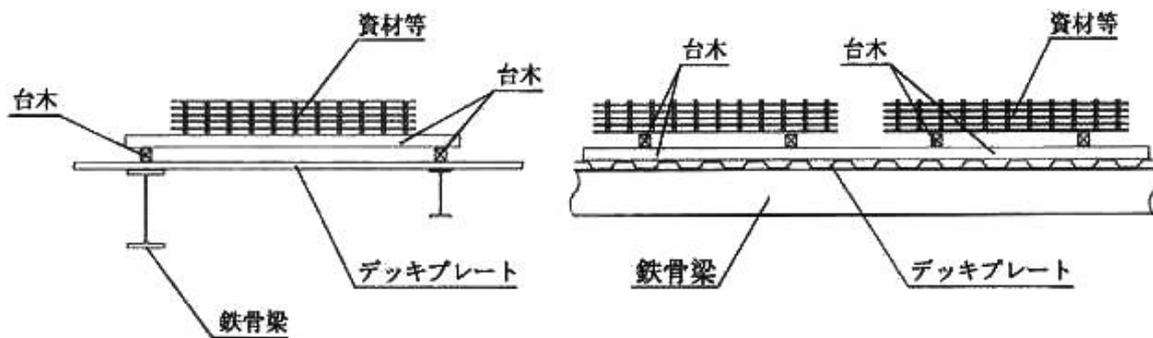


図 1 資材仮置き例

・敷設したデッキプレートの上に直接資材等を置かざるを得ない場合は、梁を跨ぐ位置にできるだけ分散させます。計算によらない場合は、コンクリート打設時の検討荷重（コンクリート重量+施工荷重）を超えないようにします。（目安として下表に示す）

表 1 コンクリート打設時の床スラブ厚別の荷重

デッキの山上スラブ厚 (mm)	70	80	90	100
検討荷重 (N/m ²)	3,750	3,990	4,230	4,470

<表の算定条件>

- ・コンクリート単重：24kN/m³
- ・デッキプレートの平均溝深さ：25 mm
- ・施工荷重：1,470N/m²